

第39回 RIDCマンスリー研究セミナー
帝国としての秦とその官吏たち
- 簡牘史料から見た秦帝国の誕生と滅亡 -

スピーカー
岡山大学社会文化科学学域 准教授
土口 史記

日時
2024年11月27日(水)
12:00~13:00

開催
オンライン開催

紀元前221年、秦は中国の統一を果たした。秦王政は「皇帝」号を定めるとともに、全土を郡縣制によって支配する方針を決めた。これらをもって「秦帝国」が名実ともに成立する。

21世紀以降、秦代の簡牘(竹簡・木簡)が大量に見えられ、秦帝国の光輝をこれまでにはいかなる程度で知ることができるようになった。それらを読むと、秦の官制や文書行政のシステムがあまりにも高度な発達を遂げていたことが分かる。

しかしどれほど制度が精緻であったとしても、それを運用するのはあくまで個々の人間であり、全ての官吏が制度の掲げる理想どおりに動くとは限らない。実際、秦代にもそうした「期待に添わない」官吏が数多く存在した。そこで本セミナーでは、近年公開の簡牘史料を読み解きながら、秦帝国の地方支配を形作った官吏の実態について解説する。特に、支配者の理想から乖離した者たちに注目してみたい。

お申し込み先 <https://forms.gle/HwH7ToMMdHXaSDd8>

お申し込み締め切り 11月26日 12:00

お問い合わせ先 文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。お申し込み、参加料は無料です。
